

事業評価シート

事務事業名	すこやか子育て支援事業	担当課名	幼児教育課
総合計画の 主要施策名	子育て支援の充実	班 名	幼児総務班
		事業コード	3322

事業の目的	子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子どもを産み育てることができるような環境を整え、乳幼児のすこやかな育成を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・満1歳未満の子どもをもつ保護者に乳児養育支援金として月額1万円(県1/2補助)を支給する。 ・町内に住所を有する幼稚園児・保育園児をもつ保護者に、その保育料等の全部または一部を減免する 			
事業の対象	乳児養育支援金...満1歳に満たない者 保育料等の軽減...満1歳から小学校就学の始期に達するまでの者			
事業費	年度・区分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度予算
	金額	17,625 千円	14,110 千円	3,405 千円

事業の効果等	名称	単位	H19年度実績	H20年度実績	H21年度(予定)
		乳児養育支援金支給人数	人	278	296

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	<p>乳児養育支援金については、県が19年度までに出生した乳児のみを補助対象とする経過措置を残して事業を廃止する中、町では20年度に出生した乳児についても支給対象とするよう独自に事業を拡大した。これは、特に不安感の大きい子育て家庭が安心して子どもを産み育てることに夢を持てる環境づくりへ貢献しているものと評価できる。21年度は県の補助がなくなること、0歳から保育料助成が開始されることなどに伴い、20年度までに出生した在宅で保育される乳児のみを補助対象とする経過措置を残して事業を廃止する。</p>			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり
------	---	--------	----------